



ユースとサポーター・アダルトの生涯をつうじた、
家族のようなつながり



Permanency Pact

パーマネンシー・パクト

日本版

【著作権©FosterClub 翻訳©IFCA編集部】

—— 児童養護施設や里親家庭で育つ若者たちのパーマネンシーを築くためのツール ——

IFCA
International Foster Care Alliance

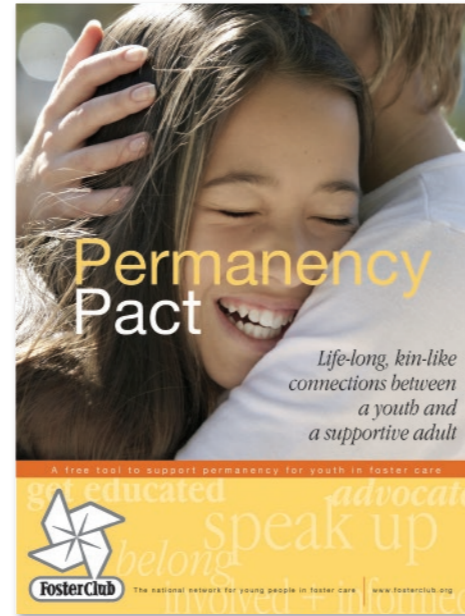
私たちは、**インターナショナル・フォスターケア・アライアンス [IFCA・イフカ]** という団体です。

2012年に日本とアメリカに社会的養護で育った若者たちのチームを結成し、メンバーが1年に1度、お互いの国を訪ね、児童福祉の制度やしぐみについて学び、自分たちの当事者としての経験と提言を、様々な場で発信してきました。

この冊子は、自立に向けて社会的養護のもとで暮らすユースとサポートする大人が互いの意思を確認・約束するためのツールである「パーマネンシー・パクト」の日本版です。

「パーマネンシー・パクト」は、米国の連邦レベルで活動する当事者団体 Foster Club が作成し、2007年から取り組みを開始しています。このパーマネンシー・パクトを有効に活用することで、これから社会的養護のもとを巣立つユースが、信頼できるひとりの大人と、生涯をつづじた関係を築くことができます。

IFCAでは、翻訳権と日本語版作成の許可を得て、日本の環境にある「パーマネンシー・パクト」の作成を進めてきました。



▲Foster Clubが作成した「パーマネンシー・パクト」冊子

この冊子は2つのパートで構成されています

- 第Ⅰ部は、Foster Clubが作成した「パーマネンシー・パクト」の冊子を翻訳したものです。
- 第Ⅱ部は、日本語版作成のために、当事者ユースのみなさんと協働した取り組みを記しています。日本語版の「サポートの提案リスト」は、地域や個人によって、必要度が異なるでしょう。このリストを参考にそれぞれに必要な支援について考える手助けとなれば幸いです。またこのリストは引き続き、ユース主体に検討を続けていく予定です。

このブックレットの中で使われる言葉

社会的養護・フォスターケア

様々な事情で血のつながりのある親と一緒に暮らすことができない子どもの育ちを社会で支えるための仕組み、およびそれを実現する人や場所の営みを指す言葉です。フォスターケアとは、アメリカで使われている、日本でいうところの「社会的養護」を意味する言葉です。社会的養護には様々な形態があり、家庭環境を基盤としたものには、里親やファミリーホームがあります。また、児童養護施設などの施設でケアが提供されることもあります。

当事者・ユース

社会的養護のもとで育てられている子どもや、里親委託や児童福祉施設措置が解除されて、社会的養護のシステムから離れた人のことを指します。この冊子のなかでは、当事者を、端的に「ユース」と呼んでいます。

サポーターティブ・アダルト (SA)

ユース自らが選んだ、信頼できる大人のことです。SAは、ユースが「自分は誘導されている」とか「否定的な目で見られているのではないか」という気持ちを抱くことなく、将来計画を立てるな

ど、冷静に判断が必要な時の相談相手になる人でもあります。SAの役目をつとめるのは、ケアを離れた元ユース、里親、ケースワーカー、教師など。フォスターケアを離れる若者たちには、心を開いて話し合え、自分を支えてくれる大人が必要です。SAとの継続的な関係は、ユースたちの社会的・経済的な状況が改善するだけでなく、かれらをあらゆるリスクから守り、トラウマや心的ストレスからの回復を促進することがわかっています。

パーマネンシー

「家族のようなつながり」を持つ人との継続的な人間関係のことです。血縁関係のある家庭の外に措置されている自立をひかえたユースのためには、家庭復帰、養子縁組、後見人など、法的なパーマネンシーの保障の方法があります。近年、それに加えて「ひとりの信頼できる大人との関係を保つ」ことも、パーマネンシーのひとつとして、見直されるようになりました。

★IFCAのユース・プロジェクトとサポーターティブ・アダルトについて、より詳しい内容が、別冊のブックレットに記載されています。

[用語集©IFCA編集部]

第Ⅰ部 Permanency Pact パーマネンシー・パクト

第Ⅰ部では、Foster Clubが作成した冊子「パーマネンシー・パクト」の翻訳を掲載します。米国と日本の当事者ユースを主体とした団体International Foster Care Alliance(IFCA:イフカ)が、Foster Clubから許可を得て、パーマネンシー・パクトを翻訳しました。翻訳と日本語版作成について、ご快諾いただいたFoster Clubの皆さんにお礼申し上げます。文中に出てくる、統計データや数字、ユースを取り巻く状況は、米国のものです。一部、日本の状況と異なっている点もあります。

What's a Permanency Pact?

『パーマネンシー・パクト』とは、いったい何か?

それは、サポーターティブ・アダルトと呼ばれる大人が、社会的養護を離れる若者たちのために「私は、あなたにこれだけのサポートをしますよ」という約束のことです。また、これから自立するユースが、信頼できるひとりの大人と、生涯をつづじて血のつながった親類のような関係を持てるようになるための関係づくりの手助けをするツールでもあります。



社会的養護を離れる若者たちは「自分はこれから、誰に頼ったらよいのだろう」という疑問を持っています。社会的養護のもとに身をおくユースたちの大人との結びつきは、児童相談所のケースワーカーなどの専門職との関係がほとんどですが、このような「フォーマル(公的)な関わり」は、たいいてい措置解除の時に断ち切られてしまいます。社会的養護からの自立が安全で充実したものであるためには、その前後の重要な時期に、ユースが「信頼できるひとりの大人」を確保し、その大人からサポートを受けること、そしてそのサポートが持続していくことを確認してからケアを離れることが必要です。ユースがケアを離れた後に、信頼できる大人は実際にどんなサポートをしてゆくのか。その具体的な支援の内容を、大人とユースが話し合い、「約束事」として同意を結ぶことで、お互いの誤解が無然に防げ、ユースの将来のセーフティネットを確実なものにします。

『パーマネンシー・パクト』は

- フォスターユースの措置解除後の支援に、骨組みとセーフティネットを与えるツールです
- ユースは自分が「支援して欲しいこと」を、そして、サポーターティブ・アダルトは「支援できること」を文章として書き表します
- こうした取り決めが必要なのは、どのようなことをお互いがお互いに期待しているのか、明確にする必要があるからです

『パーマネンシー・パクト』は、方法と順序を踏んで行う「正式なプロセス」です。ユースとサポーターティブ・アダルトが、一緒に「パーマネンシー・パクト」という約束書[このブックレットのP8を参照]をかかわすことによって、ふたりの人間関係と、お互いに寄せる期待をはっきりとわかりやすいものにします。この取り組みに肯定的な効果があることが証明されています。サポーターティブ・アダルトが、支持的な態度でひとりのユースと親身になって向き合うことが、そのユースの将来に安定した生活をもたらします。

『パーマネンシー・パクト』を成立させるためには

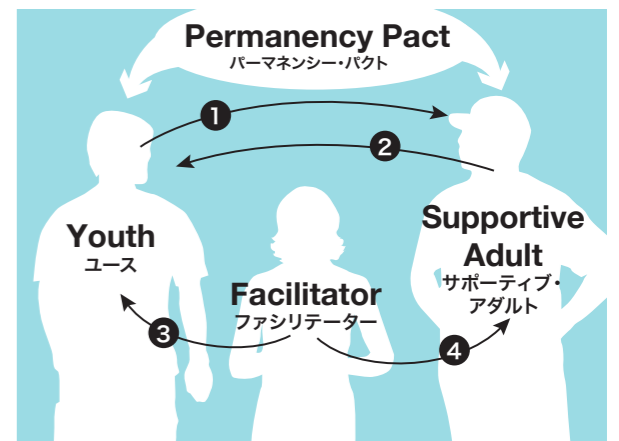
ユースとサポーターティブ・アダルトの他に、もうひとり「ファシリテーター」が必要です。このファシリテーターは、パーマネンシー・パクト作成までの流れをスムーズにする重要な役割を担う人物です。ファシリテーターの適任者としては、児童相談所のケースワーカーや、自立支援のことを専門に行う人などが考えられます。どちらにしても、このような条件を満たしている人がよいでしょう。

- パーマネンシー・パクトについての基本的な理解のある人
- ユースに対して公正な考え方と態度を持って接することができる人
- ユースが自立する際の一般的なニーズについて、洞察力を持っている人

サポーターティブ・アダルトの条件としては次のようなものがあげられます。

- ユースが自分で選択した人
- ユースとの良い関係をすでに持っている人
- ユースとの一生を通じた関係を維持してゆくことに責任をもてる人
- 良いロールモデルであり、ユースが必要な支援を長期的に提供できる人

【パーマネンシー・パクトの関連図】



- ① ユースがサポーターティブ・アダルトを選ぶ
- ② サポーターティブ・アダルトは、ユースが「自分の自立にはこれが必要」と考えるサポートを提供することを約束する
- ③ ファシリテーターは、ユースに、パーマネンシーの重要性を教える
- ④ ファシリテーターは、サポーターティブ・アダルトの指導にもあたる

『パーマネンシー・パクト』の作成

パーマネンシー・パクトは、社会的養護を終えて、成人期へと移行する準備をするなかで、ユースが自分の望む、もしくは必要とするサポートについて、深く理解することから始まります。次のページから始まる『45のサポートの提案リスト』は、その理解を深めるのに役立つことと思います。

ファシリテーターは:

- 個人情報を守るための書式にサインします
- リストに上がっているサポーター・アダルトの候補者たちに初回の連絡をとります
- サポーター・アダルトの候補者たちに、ユースの現在の状況を説明したあと、彼らがどの程度、ユースの支援に興味を抱いているか、判断します
- そして、サポーター・アダルトが提供可能なサポートを選定する手助けを行います
- パーマネンシー・パクト・ミーティングを調整して、会議の進行をつとめます

ファシリテーターは、『45のサポートの提案リスト』を用いて、サポーター・アダルトが、ユースに「これは是非サポートしてあげたい」思う支援リストの第一稿を作成します。そして、作成されたリストをユースに渡します。ユースはその中から、自分に「これは有益だ」と思うサポートを選びます。さらに追加のサポートを、ユースとサポーター・アダルトの両方から提案してもらうこともできます。

最終的なリストは、手書きでもパソコンで作成したものでもよいですし、このブックレットのP8のテンプレートを使ってもよいでしょう。ユースとサポーター・アダルトは、作成した「パクト(約束事)」に署名して、ファシリテーターは、証人として署名します。出来上がった「パクト(約束事)」のコピーがユースとサポーター・アダルトに手渡されます。そして、「パクト(約束事)」のコピーは、ユースの自立支援計画の書類のひとつとして、児童相談所のケース記録にも保管されます。この「パクト(約束事)」は、ユースとサポーター・アダルトの間に正式な約束が交わされたという証明書になります。ユースの措置解除と自立支援に関わる全ての人からなるチーム(里親・CASAボランティア・司法関係者など)もコピーを受け取る必要があります。

こうした信頼できる人間関係を構築する過程は、信頼関係が破たんし、約束が守られないことが多く、劣悪な環境の中で失望を経験してきた背景を持つユースにとって、非常に大きな意味をもたらします。自分が信頼する大人から、永続的な関係を約束されるというのは、かけがえのない贈り物となるでしょう。こうして築かれた関係の効果は、ユースの将来のあらゆる局面で現れてきます。約束の重要性

- 本冊子P8の証明書テンプレートは、このような流れの中で、パーマネンシー・パクトがユースとサポーター・アダルトの間で結ばれたことを確認するために用いてください。

まず初めに、ファシリテーターはユースとともに、支援を提供してくれるような大人をリストアップしてみましょう。リストには、現在連絡をとりあっている大人だけではなく、過去につながりがあった大人で、ユースが関係の再開を望む人をあげてもかまいません。



を表わすためにも、パーマネンシー・パクトをセレモニーやお祝いとして行うことを薦めます。サポーター・アダルトはパーマネンシー・パクトが行われた「しるし」として、記念品(宝石・写真立て・時計・彫刻品・手紙・アルバムなど)を贈ることを望むかもしれませんが、お祝いの食事を楽しむのもよいでしょう。



ミシガン州出身の ショーン
(フォスタークラブ・オールスター)

私は、自分の成長の過程で、家族やコミュニティ、そしてピアサポートの重要性を理解することができました。地域での活動に力を注ぐようになってから、自分のまわりの仲間の輪がどんどん広がってゆきました。私を支援してくれる多くの人々がいることがわかり、人生はますます豊かになりました。私は、ひとりの人間を取り巻く同世代の仲間、実親、里親や養子縁組した親、結婚によってできた親族などは、すべてその人の『ファミリー(家族)』であり、最も価値あるものだとの底から感じます。

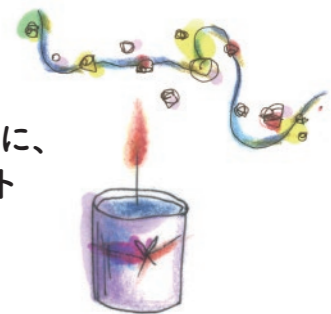
18歳のキャリアガイ カルフォルニア州
(フォスタークラブメンバー)

パーマネンシー・パクトは、サポーター・アダルトとの継続的な人間関係を保つことができる点で、とても重要だと感じています。最近、僕は何人かの大人に出会ったのですが、彼らとの関係が持続性のある確実なものなので、僕の人生を成功にみちびいてくれる重要な人々になるに違いないと感じています。

45

45 Suggested Supports

…社会的養護から巣立ち自立するユースたちに、サポーター・アダルトが提供できる支援のリスト45のサポートのかたちです



□ 休暇を過ごす家

休暇を過ごす家族がいないというのは、社会的養護を終えたユースにとって重大な問題です。祝祭日や誕生日に招かれ、共に祝うことは、ユースが年間行事の度に気持ちが沈んでしまうことを避けることにつながります。

□ 洗濯場の提供

多くの大人は、自分の青年期を振り返ると、汚れた服を詰め込んで帰宅したことがあったのではないのでしょうか。洗濯できる場を提供するのは、日常的にユースとつながる良い方法であり、住宅環境が整っていない中でも、いつも身だしなみを整え、外見に自信を持たせてあげることができそうです。

□ 緊急時の滞在先

社会的養護を終えたユースの25%が、はじめの2~4年の間に、少なくとも一晩は寝床がない状態になっているという調査結果があります。そういった緊急時に寝床となるソファや客室を提供できると、ユースが困難な状態にあるときに、心配を軽減し、安全な状態に身を置くことができます。この支援を提供するときは、滞在期間を限定したり、家事を手伝うなどの条件をつけても良いでしょう。

□ 食べ物や特別なイベントの食事

例えば毎週木曜日に、気の置けない家庭的な雰囲気食卓を囲むことができたり、日曜日のランチに招待されたり、月に1度のランチ会があると、しばしばユースの食生活の中心を占めているファストフードに代わって、健康的な食生活を彼らに提供することができるでしょう。そして、それだけではなく、食事を通して人とのつながりや、家族生活のモデルを見せる良いチャンスになるかもしれません。「家庭の冷蔵庫や食料の置いてある棚から、いつでも食べ物を持って行っていいよ」と言われることは、限られた食費でやりくりしなければならないユースにとって助けになりますし、手持ち金が少なくなり、栄養状態が悪くなるのを回避させてあげることができます。



スカイラー モンタナ州
(フォスタークラブメンバー)

これまでの人生でいろいろなことを経験してきました。僕は、時々、大勢の人にかこまれていても、自分は世界に一人ぼっちなのではないかと感じることもありましたが、どうしてそう感じるのかはわからなかったけれど、おそらく僕が里子だったために、「意味のない存在だ」と言われてきたからなのかもしれません。しかし、そんな試練の後で、僕はこれまでたくさん感じてきた苦しみや辛い人間関係を忘れさせてくれるある人と出会いました。その人は、僕が6年生の時の音楽の先生で、僕の助言者であり、11回にもわたる措置変更から救ってくれた人でもあり、そしてこれからは僕の父です。僕は現在23歳でまもなく、彼の養子になります。養子になるのに、遅すぎるということは決してないのです。

□ 寮への小包

自宅を離れ、寮生活を送る学生のもとには、時々手作りのクッキーやテレフォンカードが両親から送られてきます。社会的養護の期間を終えたユースのもとに定期的にこういった贈り物が届けられたら、彼らの「心の中にいつもある家族」とのつながりを思い出してもらい、他の“普通の若者たち”との距離感を縮めることができるかもしれません。

□ 雇用の機会

雇用主や人事に関わるポジションにある人は、新たに人を雇い入れるときに、ユースたちへの支援ができる格別な立場にあります。採用情報を電話で伝えたり、履歴書を書くのを手伝ったり、面接の練習相手になることもすべて大きな助けとなります。サポーター・アダルトはユースに、庭仕事や清掃、ベビーシッターなどの仕事を提供することで、臨時収入や勤務実績を作るチャンスを与えることができます。

□ 仕事探しの手伝い

職探しというのは、誰にとってもきつい作業です。助言を与えたり、申込用紙の記入や履歴書の作成を手伝ったり、面接のリハーサルをしたり、面接会場への送迎を行ったり、適切な衣服をそろえたり、職場での立ち振る舞いについて話し合ったり、もしくは単に励ますことでもユースの職探しを成功に導く手助けになるでしょう。

□ キャリア・カウンセリング

ユースが興味を持つような分野で働いている大人は、彼らに対し、キャリアの積み重ね方などのアドバイスをすることができるでしょう。仕事に同行できたり、実際の現場での経験につながるようなものは、特に若者にとって有益であると言えます。サポーター・アダルトは、ユースにこういったつながりを作ってあげることで支援ができます。

□ 家探し

最初に住む場所を確保することは、大人への道の第一歩となります。しかし的確な助言がなければ家探しというのは非常に困難な経験となるでしょう。社会的養護を終えてケアを離れるユースは、身元保証人や連帯保証人がいない場合が多いため、保証人になってあげることで支援ができます。社会的養護のもとで育ったユースは、金銭的な支援を受ける機会はあるかもしれませんが、社会資源(リソース)を探し出したり、申し込むことにも手助けが必要です。また、サポーター・アダルトは住居探しを通して、ユースがつまづきやすいポイント、例えば、ルームメイトや水道・ガス・電気、近隣の環境や、通勤や必要なサービス等について、直接、話し合う機会を持つことができます。

□ 余暇活動

ユースを、サイクリングやボーリング、バスケットボール、もしくは単に散歩に誘うことも、彼らの健康増進やストレス軽減、安心できる関係を提供することにつながります。料理や木工、絵画やギターなどのレクリエーション的な活動も、ユースの息抜きとなり、スキルを身につけることを助けます。その他、映画鑑賞やトランプやチェス、モノポリー、写真、買い物、小旅行などの活動でも良いでしょう。

□ **メンター**

メンターは若者に効果的な影響を与えるものです。社会的養護のもとに育った若者にとって、公的か非公的にかかわらず、支援者はロール・モデルであり、コーチであり友人となりえます。

□ **移動手段**

ユースは、しばしば移動手段を必要とすることがあり、頼る人がいないことがあります。サポーターティブ・アダルトは、使用目的を通学・就職活動・通院・親戚を訪れる場合などに限定し、移動手段を提供してあげることができると良いでしょう。どのように公共の交通機関を利用するかを調べてあげることは、様々な機会を手助けになるでしょう。

□ **教育支援**

統計によると、里親のもとで養育される子どもの高校卒業率は50%となっています。この衝撃的な統計データは、何度も措置場所を代わったこと、学習障害を持っていること、親からのサポートがなく、欠席が多かったことなどが原因で、多くの子どもたちが就学の困難を味わっていることを物語っています。サポーターティブ・アダルトは、家庭教師や、教育アドボケートになったり、または、たんに必要な際にアドバイスを与えることでユースの助けになることができます。大学進学を考えているユースへは、大学への願書提出、学資援助、そして希望としている大学へのキャンパス見学などのサポートもするとよいでしょう。

□ **交際／結婚／親業のカウンセリング**

社会的養護を離れて自立するユースは、しばしば個人同士の関係を開拓したり、持続したりするスキルに欠けています。多くの場合、彼らのお手本となる人間関係とは、機能していない血縁関係にある両親、グループホームや施設の世話をしてくれた人々です。サポーターティブ・アダルトは、時期をみはからって、ユースと、交際や結婚、配偶者としての役割、良い親になるためのアドバイスなど、率直な意見交換をするとよいでしょう。

□ **病院予約の補助／付き添い**

付き添いも無く、たったひとりで病院へ向かうのは、恐怖心をかきたてることかもしれません。サポーターティブ・アダルトの支援としては、ユースと病院と一緒に行ってあげたり、医師にどんな質問をするかを予行練習したり、医療チームの出してくる診断や家庭での治療の方法をおさらいしたりすることがあります。どうやったらセカンドオピニオンを得られるのかも、教えることもできます。

□ **荷物の保管**

ユースたちはしばしば、生活が落ちつくまでいろいろな場所に短期で移り住むことがあります。そんな時に、サポーターティブ・アダルトは、大事な私物を置ける場所を提供し、写真アルバムや家族との記念品、レコードなどの所有を維持できるよう保証してあげることも、大切な支援です。

□ **モチベーション**

誰でも、自分を応援してくれる人がいるとやる気がでてきます。サポーターティブ・アダルトは、ユースに勇気付けの言葉を送ってあげられる唯一の存在かもしれません。

□ **話し相手／相談相手**

ユースがケアから離れるとき、しばしば精神不安定になり、孤独や心配にかられることがあります。サポーターティブ・アダルトは、そんな彼らの気持ちの発散させるために話をきいてあげ、アドバイスや知恵を与え、または考えをまとめるための共鳴板になってあげることができます。夜中や早朝の電話を避けるために、ユースが話してもよい時間をあらかじめ決めておくのが良いでしょう。

□ **電話の使用**


携帯電話は、これからひとりで社会に旅立とうとするユースにとって、単なる贅沢品ではありません。サポーターティブ・アダルトは、自分の電話番号を、ユースの将来の雇い主や大家さんとの連絡先として使用をさせてあげることができます。電話は、ケアワーカー、兄弟姉妹、両親、以前の里親との繋がりを維持し、社会資源のアクセスを広げる重要なツールです。

□ **コンピューターの使用**

ユースにとって、学校の宿題、就職や家探し、またはきょうだいや親戚と連絡を取る手段として、コンピューターが使えることはとても貴重です。サポーターティブ・アダルトは、仕事先や職場で、コンピューターの使用機会を提供することができます。同時に、使用時間制限、サイトの閲覧制限、ダウンロードしてもよいものの制限を決めると良いでしょう。

□ **服装**

ユースは、就職面接、結婚式、特別行事、卒業式などのイベントに合わせた服の購入や選択に、助けが必要かもしれません。コスチューム・パーティーやスキー旅行などの特別な場合には、それに合った服装の用意も必要かもしれません。サポーターティブ・アダルトは、洗濯、アイロン、補正、新しい服や特別な行事用の買い物の手助けをしてあげることができます。ユースが身なり・容姿を整えることは、彼らの自信につながります。



ミシガンのJJ
〈フォスタークラブ・オールスター〉

パーマネンシーとは人それぞれとらえ方が違う感覚です。それは単に、人と人が一緒にいる時間の長さで測られるものではありません。それは、見出せされなければならないもので、ほとんどの場合、「永続する人間関係」になるまでに、「ためされたり」「拒絶されたり」のパターンを繰り返します。パーマネンシーは、人間の感情に感じる概念なので、理解するのがとても難しいのです。たったふたりの人間の間でも、この”概念”を非常に違ったとらえ方をすることがあります。『パーマネンシーとはこういうものです』という教科書に出てくるような説明はどこにもないですし、私のもっている感情は、他の人の感情とは違って、それがパーマネンシーの素晴らしいところでもあるのです。

□ **精神的なサポート**

一般的に、若者たちの宗教の選択や、持ち備えた信仰心などは、彼らが、自分の親たちから自然と学び取り、体の中にしみ込んでいる場合が多いものです。社会的養護の中に身をおく子どもたちは、精神的・宗教的な教えや導きが欠如していることが、しばしばあります。サポーターティブ・アダルトは、ユースたちが自らの精神的な道を開拓する手助けをしてあげることがあります。教会やその他の宗教的な活動にさそってあげるのもよいでしょう。

□ **法的な問題**

ケアを離れるユースが法的問題を起こすと、弁護士の助けを得るための金銭的余裕がない場合が多々あります。法律的なもつれが生じると、深刻な問題へと陥る可能性も高くなります。なぜなら、ユースたちは、法律制度のプロセスの経験にも欠ける上に、経済力がないからです。サポーターティブ・アダルトはユースたちが必要な法的サービスへ繋ぐことで彼らの援助ができます。犯罪に手を染めかけているユースに、助言(アドバイス)を与えることもできます。

□ **文化的な経験**

サポーターティブ・アダルトが、ユースと同じ文化的背景を持つ場合、自分がすでに属しているクラブや活動に参加するように誘いかけてあげることも一案です。もしお互いの文化背景が違う場合でも、ユースは、参加したことがもて、文化活動に興味や関心を持つかもしれません。若者たちの伝統的な文化とのふれあいは、彼らが自分のルーツをさぐり、やがては自尊心につながってゆく、そんな機会をつくってあげることであります。

□ **引越し**


引越しは、友人のサポートで、荷支度、労働、トラックの運転、新しいアパートの支度など、とても簡単になります。サポーターティブ・アダルトは、自分のガレージや倉庫にある、使えそうなものを家具として持って行くように勧めることができます。

□ **料理のレッスンや手伝い**

フォスターケアを離れるユースは、ほとんどが自分たちで料理することを経験していません。一緒に料理をつくる時間は、ユースとサポーターティブ・アダルトが、意義深いことを話す格好の機会ですし、お互いの絆をいっそう深めるチャンスでもあります。サポーターティブ・アダルトはユースを買い物へ連れて行くのもよいし、ユースが初めての台所にストックするための必要な食器、調味料、洗剤や食料などを用意してあげるのもよいでしょう。

□ **定期的な近況確認(日ごと、週ごと、月ごと)**

単純に、自分がいなくなったり怪我をしたり、トラブルに巻き込まれたことに気づいてくれる人がいることは重要です。サポーターティブ・アダルトに定期的に様子を確認してもらうことは、ユースたちの不安感を取り除きます。誰かが自分の安否を気にかけていてくれることは、心強いと同時に、自信にもつながります。



インディアナに住む シャーデー
〈フォスタークラブ・オールスターのユース〉

パーマネンシーはとても大事です。里親や施設を転々とするような人生をおくると、だれとも親密で意義深い関係を持ってないし、これからの人生に必要な不可欠な、かけがえのない人間関係を構築する方法も知らずにいることになります。定住する場のないこと、パーマネンシーが欠如していることは、自分の問題から逃げ回ることと深く関係があります。

□ **お金のやりくりの支援**

請求書の種類分け、預金の残高管理は、数学が苦手なユースや学習障害をもつユース、もしくはこうした経験のないユースにとっては、途方にくれてしまうようなタスクです。銀行口座をつくり、維持すること、ローンの申込書を理解すること、予算管理することは、サポーターティブ・アダルトが援助できる事柄です。

□ **薬物やアルコール依存症のサポート**

社会的養護のもとに身を置く若者の多くは、ドラッグやアルコール依存問題を抱えた両親をもっています。ケアを離れて自立するユースが、危険な隠れた落とし穴を避けるために、支援の手を差し伸べる必要があります。もしも、ユースたちが問題に直面するようなら、家族の薬物依存サイクルを破るためのサポートをしてあげるべきでしょう。

□ **メンタルヘルスのサポート**

フォスター・ユースたちの多くが精神疾患を持っています。躁鬱、多動症候群、摂食障害などの病気は、ユースたちを苦しめています。サポーターティブ・アダルトが、それらの精神疾患について知ること、学ぶことが、ユースに救いの手をさしのべる、最初の一步です。

□ **連帯保証人**

アパートを借りたり、車を購入するとき、そして、銀行口座開くとき(特に18歳以下)には、連帯保証人が必要です。もしユースが支払いを怠ったり、経済的な契約を守らない場合の金銭上の負担を考えてください。連帯保証人となるサポーターティブ・アダルトは、ユースが着実に経済的な責任を果たせるようになるまで、監督・指導してあげることが重要になります。

□ **申し込み用紙や文書、複雑なメールを理解する支援**

学習障害を抱えている多くのユースは、複雑な文章の読解ができません。サポーターティブ・アダルトは、週に一度、読解や記入の難しい書類と一緒に見てあげたり、必要な際に電話で相談にのってあげたりすることが大事です。

□ **機械的／もしくは製作プロジェクト**

ユースには、車を修繕が行き届いた状態で保つための支援が必要かもしれません。車のケアをユースたちに教えることは、彼らが一生涯持ちこたせることができるスキルや自信を育てることへの支援になるでしょう。借りている家やアパートの修繕、あなたの家周りの手伝いを頼むことで、生活で使える新しいスキルを教えることができるでしょう。

□ **家事**

ユースの中でも特に大舎型施設やグループホームのような拘束的な環境で育った若者たちは、家内を整頓・清掃するといった、ごく日常的なスキルに欠ける場合があります。サポーターティブ・アダルトは、たくさんある家事のなかでも、どれにどの洗剤を使ったらよいのか、感染症を防ぐにはどうするか、家中の整頓の仕方などを指導してあげるとは、とても役立ちます。

□ **部屋の装飾**

家の飾り付けを手伝うのはとても楽しく、それはユースの自尊心やプライドにつながる支援の方法です。

□ **選挙**

一般の若者の政治意識や関心は、彼らの両親の政治的な理念や考えのもとに形成されている場合が多いものです。社会的養護に身を置くユースは、このロールモデルを経験していないので、支援者は、ユースを選挙会場へ連れていったり、選挙のための登録を手伝うなど、現在の地元の市町村、県、国についての情報を与え、ユースと語り合うことが重要になります。

□ **ボランティア活動**

人を助けたり、価値のある目標のためにボランティアをすることは、自信をつける素晴らしい方法です。サポーターティブ・アダルトは、自分の監督下で、若者を雇ったり、一緒に新しいボランティアに着手することができます。

□ **社会資源の見つけ方**

政府機関のたくさんの複雑な社会サービスやプログラムからしっかりと情報をつかむことは困難であり、大人でも難しい作業です。サポーターティブ・アダルトは、社会的資源(リソース)の情報をリスト化するのを手伝い、いろいろな団体に一緒に行くことをお勧めします。

□ **安全性と保全**

社会的養護を離れて自立するユースは、自分自身の身の安全に責任を負う必要があります。サポーターティブ・アダルトはそうしたユースに、自己防衛クラスの受講、心肺蘇生法の資格取得、最新の健康や安全性の問題について知ることをすすめることよいでしょう。ユースの住むアパートへ行き、家の保全性についてのアドバイスとともに、緊急時の際にどのような行動をとるかや避難計画を立てることも大切です。サポーターティブ・アダルトは、ビジネスの書面上でも、何かが起きた際の緊急連絡先に自分を記載してよいと申し出てあげると良いでしょう。

□ 子育て支援

子育て支援のサービスは、ひとり親のユースが家族分離に陥らないための、最も重要なリソースです。洗濯や掃除などの家事をこなしている間に、子どもを見てくれるサービスは、若い母親や父親に大切な息抜きを提供するだけでなく、親業のロールモデルも同時に提供します。

□ お金がなくなったとき

私たちのほとんどは、若いときに一度や二度は、お金が足りなくなった経験をしています。社会的養護を巣立ったユースは、しばしばこの重要な「セーフティネット」を欠いています。サポーター・アダルトは、ユースの所持金が底をついた時、どの程度まで、援助する準備があるのかを、前もって話し合う必要があります。どこまでが『緊急事態』と呼べるのかをユースと協議しておく必要があるということです。例えば、それは、ユースの家賃なのか、緊急通院の費用なのか、デートの費用なのか、ガソリン代なのか、といった具体的なことです。

□ 身元保証人

大学進学や住居、仕事を含んだあらゆる契約や申請の際に、申込者は身元保証人のリストをあらかじめ用意することを要求されます。もしサポーター・アダルトが、その有力な身元保証人の候補ならば、ユースが現在の連絡先を把握しているか確かめるべきでしょう。

□ アドボカシー

ユースには、法廷や学校、行政機関等において、自分自身を弁護・擁護することが難しいことがあります。サポーター・アダルトは、ユースの意見をまとめたり、彼らの代理となって話したり、手紙や書類作成を手伝うことが出来ます。

□ 社会活動やコミュニティ活動への参加

社会的養護の当事者は、ケアを離れると、新たな友達との交わりや関係づくりが難しくなることがあります。サポーター・アダルトは、定期的に、ユースを社会的な集まりや地域的な集まりに出席するように声をかけてあげ、友達を作る良い機会をつくってあげるとよいでしょう。結婚式やハイキング、園芸クラブやコミュニティサービスの企画、ボランティア活動、ダンス、スポーツイベント、意見交換会、生涯学習などがその一例です。

□ 養子縁組

18歳以上の年上のユースにとっても、養子縁組は彼らの望む最高のパーマネンシーのかたちです。養子縁組の関係を提供できるサポーター・アダルトは「パーマネンシー・パクト」を通じてこの永遠の関係をユースに差し出してあげてください。ユースは、養子縁組の意味を生みの親やきょうだいとの関係を失うことと解釈して、不安を抱きます。養子縁組の選択について話し合うときに、ユースのこうした気持ちを考慮に入れるべきです。一度は養子になることを断ったユースでも、気持ちが変わることがしばしばあるので、大人が時々提案をし直すのも良いかもしれません。

About FosterClub フォスタークラブについて



フォスタークラブは、社会的養護のもとにいる若者たちの全国ネットワークです。



米国では、約2分ごとに、フォスターケア・システムの中に新しい児童が入ってきます。この国には、513,000人を超える子どもたちが社会的養護のもとで生活しています。フォスタークラブは、彼らのために、アドバイスや情報、希望を与える団体です。私たちのピアサポート・ネットワークは、社会的養護の当事者たちの人生に新たな意味をもたらします。フォスタークラブのウェブサイトを訪れる子どもたちは、自由に質疑応答ができるようになっています。www.fosterclub.comは、若者のためのウェブサイトです。www.fly3.comは、ケアの過渡期にあるユースのためのウェブサイトです。社会的養護の下に身を置くユースをサポートする大人のためのサイトは、www.fyi3.comです。私たちの出版物は、若者たちへインスピレーションや成功をもたらすツールや、同じ境遇にある仲間からのメッセージや視点も、同時に伝えています。フォスタークラブのトレーニングやイベントは国内の各地で開催され『フォスタークラブ・オールスターズ』と呼ばれる卒業生の力強いグループの面々が登場します。アウトリーチの方法は、フォスターケアの環境の中にいるユースたち同士のコ

ミュニケーションを向上させ、お互いの将来が実り多いものなるような会話を築けることを目的にしています。フォスタークラブのメンバーは、既存のメンバーだけでなく、将来、フォスターケアに入ってくるすべての子どもたちのために、より良い未来を築く目標を掲げた団体です。この非営利団体の成功は、パートナー団体との協力と、社会問題に関心のある人々の寛大な行為によるものです。もし、あなたがフォスタークラブや、社会的養護の当事者支援についてもっと知りたかったら、www.fosterclub.orgを訪ねるか、503-717-1552に電話して下さい。フォスターケアは、501(c)3NPO 法人です。(EIN93-1287234) 風車のマークは、全ての子どもたちが心配のない幼少期をおくる価値があるという、変わらない幸福のシンボルです。虐待やネグレクト、放棄によって、幼少期がさげざらされた社会的養護を受けているユースは、米国内で513,000人以上います。フォスタークラブのピアサポートネットワークは、情報や物資、奨励、希望の提供によって、社会的養護の中にいる子どもたちに人生の新たな意味を与えてくれます。

PERMANENCY PACT

ユースとサポーター・アダルトの関係を強固にし、ともに前進し続ける努力をします。

サポーター・アダルトの署名

サポーター・アダルトからの明確なサポートの提供を、受け入れることを誓います。

ユースの署名

署名日 年 月 日

ファシリテーターの署名

ユースとサポーター・アダルトの生涯をつうじた、親族のような繋がりを「パーマネンシー・パクト」文書でここに立証します。

フォスタークラブは、社会的養護の環境にいる若者たちのための全国ネットワークです。 | www.fosterclub.org



- 休暇を過ごす家
- 洗濯場の提供
- 緊急時の滞在先
- 食べ物や特別なイベントの食事
- 寮への小包
- 雇用の機会
- 仕事探しの手伝い
- キャリア・カウンセリング
- 家探し
- 余暇活動
- メンター
- 移動手段
- 教育支援
- 交際/結婚/親業のカウンセリング
- 病院予約の補助/付き添い
- 荷物の保管
- モチベーション
- 話し相手/相談相手
- 電話の使用
- コンピューターの使用
- 服装
- 精神的なサポート
- 法的な問題
- 文化的な経験
- 引越
- 料理のレッスンや手伝い
- 定期的な近況確認(日ごと、週ごと、月ごと)
- お金のやりくりの支援
- 薬物やアルコール依存症のサポート
- メンタルヘルスのサポート
- 連帯保証人
- 申し込み用紙や文書、複雑なメールを理解する支援
- 機械的/もしくは製作プロジェクト
- 家事
- 部屋の装飾
- 選挙
- ボランティア活動
- 社会資源の見つけ方
- 安全性と保安
- 子育て支援
- お金がなくなったとき
- 身元保証人

日本版パーマネンシー・パクト作成の取り組み

第II部では、日本の状況に即したサポートリストの作成を主な目的として実施した当事者ユースの皆さんとの取り組みをご紹介します。

パーマネンシー・パクトは米国の当事者団体 Foster Club によって作られました。このツールは、当事者ユースのニーズを中心に開発され、実際に必要なサポートが反映されていることが大きな特徴です。IFCAでも、日本の社会的養護を巣立つ若者の実情に応じた日本版のパーマネンシー・パクトを作成しようと考えました。特に、米国版が列挙する45項目のサポートのリストを日本の当事者ユースが必要とするサポートの一覧に改定する必要があります。

グループ・インタビューを実施しました!

実施日時: 2018年9月22日、10:00-12:00

日本の社会的養護のもとで育ったユースと今もケアのもとにいるユースが東京の会場に集まりました。ユースは北海道から九州までの全国各地から集まり、高校生~20代後半までの計22名でした。それに加えて、IFCAの米国ユース7名も加わり、パーマネンシー・パクトの説明と、実際にパクト(約束事)を結んでみてどのように感じているか話してくれました。

この調査は昭和女子大学倫理審査委員会によって承認されています。(申請者 永野咲:昭和女子大学学長・倫理審査委員会承認 18-17)



その後、3つのグループに分かれて、以下のようなことを話し合いました。

- ◆退所・措置解除の時(に向けて)どんなことで困ったか・不安だったか(困りそうか・不安か)?
- ◆どんなサポートがあつてよかったか?
- ◆どんなサポートが必要だったか?
- ◆どんなことを頼みにくい?どんなことを頼みたいか?

その結果を、分類して、日本の当事者ユースの皆さんが、ケアを離れた後に希望するサポートをまとめました。その結果をご紹介します!

日本の当事者ユースが考える 41のサポートリスト

- **金銭的な支援**
 - 生活費の支援
 - 緊急時の貸付
 - 金銭管理
- **住居のサポート**
 - 賃貸契約のサポート
 - 緊急時の滞在先
 - 引越しの手伝い
- **生活の支援**
 - 片付け・掃除のサポート
 - 食料の送付
 - 料理を教えてくれる
 - 家具の組み立て
- **大学の支援**
 - 奨学金申請の情報のサポート
 - 経済的な進学支援
 - 卒業や就労までのサポート
- **家族関係のサポート**
 - 家族が安全かの確認
 - 家族問題の相談(医療・葬儀・債務)
- **措置延長**
 - 措置延長や手続きの支援
 - 大学を卒業するまでの措置
- **法的なサポート**
 - 保証人
 - 書類作成の手助け
 - 書類へのサイン
 - スマートフォンの契約
 - 契約への同行
- **生い立ちの整理**
 - ライフストーリー・ワーク
 - 境遇の苦しさを共有できる場所
- **精神的なサポート**
 - 孤独感を共有できる
 - 落ち込んだときのサポート
 - いつでも話を聞いてくれる
 - 寂しい時に話ができる
- **交流**
 - ごはんを一緒に食べる
 - 家に招待してくれる
 - 年末やお正月お盆を一緒に過ごす
 - 「家族」旅行
 - 定期的な電話やライン
 - 何気ない内容の連絡
 - 定期的に会って話す
 - 気軽に帰れる場所
- **社会保険**
 - 社会保険・年金のサポート
- **子育ての支援**
 - 里帰り出産
 - 子どもをみてもらえる
- **健康面**
 - 体調不良時のサポート
 - 障害者手帳の管理

そのほかにも、当事者ユースの皆さんから、パーマネンシー・パクトについての意見が寄せられました。

パーマネンシー・パクトの良さ

- 措置解除後の生活が想像ができない人・直面できない人にとっては、サポート・リストがあることで想像が付きやすい
- 甘えて良いのか、頼って良いのか明確にできる
- 自分では言い出しにくいことをお願いできる
- サポーター・アダルトが一人居るだけで気持ちが違う

パーマネンシー・パクトの課題

- 個人的なつながりでは、法的なサポートは難しいのではないかと
- 社会的養護で育っていない人は必要ないのに、自分たちには必要ということ突きつけられた
- 頼りたいと思っても頼れない・頼るのが得意ではない
- お願いして申し訳ないと思う気持ちはどうすれば良いか
- 相手の生活を考えてしまう
- サポーター・アダルトの候補になる人が思い浮かばない...

サポーター・アダルトになって欲しい人

- 専門的な知識を持っている人
- 社会的養護のことを説明しなくて良い人
- これまでの経緯を理解してくれている人
- 自分の性格を理解してくれる人
- 味方になってくれる人



これからも、日本でパーマネンシー・パクトがどのように使用できるか、話し合いを続けていきたいと思えます。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました!



— + IFCAについて + —

IFCAのミッションは、国を超えた多様な考えの交流、協働、つながりづくりを通じて、子ども家庭福祉のシステムを前進させることです。私たちは、すべての子どもと若者が愛され、支えられ、自身の可能性を最大限に発揮できる社会を目指し、現在3つの領域で事業を展開しています。

- 1 ユース：児童養護施設や里親家庭で育った若者たちの国を超えた交流と協働のためのプログラム
- 2 ケアギバー：里親や施設スタッフなど、子どもの日々のケアにあたる人たちのための支援プログラム
- 3 プロフェッショナル：ケースワーカーや臨床心理士など、子ども家庭福祉の分野で働く専門職のためのプログラム



★ユース・プロジェクトやサポーターティブ・アダルトについてのパンフレットも作成しました！

IFCA (イフカ) International Foster Care Alliance www.ifcaseattle.org
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-33-6-202 TEL: 010-1-888-447-IFCA (4322)
メールアドレス: info@ifcaseattle.org

パーマネント・バクト(日本語版)パンフレット 2019年3月末日発行

編集メンバー 粟津 美穂 (IFCA エグゼクティブ・ディレクター)
永野 咲 (昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科/IFCA 理事)
イラストレーション 畑山麗衣

この冊子は、日本子ども家庭福祉学会「平成30(2018)年度 民間団体活動推進調査事業」の助成を受けた「当事者を主体としたパーマネンシー・バクト日本版の開発(申請者:永野咲)」によって作られました。また、「科研費(17K13886):社会的養護における当事者参画のシステム化:アクションリサーチのための予備的研究(代表:永野咲)」の成果を含んでいます。

■この小冊子をお求めの方は、お名前と住所、ご希望の部数を書いて、上記のメールアドレスに、お送りください。